ツタ。以前カラ歐洲產ノ種ノ樣ニ扱ハレテ居タケレドモ實ハ亞細亞固有種デアル。LINNÆUS 氏ガ寶曆3 (西曆1753) 年ニ *Actæa Cimicifuga* ノ名デ記載シタ際ニハ西比利亞產ト明記シテ居リ KRASCHENINIKOV氏ガバイカル地方デ採集シタ標本デ書イタノデアル、明和6 (西曆1769) 年ニ GMELIN 氏ガ Flora Sibirica ニ始メテ圖解シテ居ルソレト鮮滿ノ標本トハ極メテヨク一致スル。其故昭和12 (西曆1937) 年ニ露國ノ SCHIPCZINSKY 氏ハ歐洲ノ種デ *Cimicifuga fœtida* ニ當テテアツタ種ヘ *Cimicifuga europæa* ナル新學名ヲ附ケテ亞細亞種ト區別シタ。*C. fœtida* ノ分布ハ中鮮以北、滿洲北半、烏蘇利、黑龍州、ダフリア、トランスバイカルデアル。LEDEBOUR 氏ナドハ LINNÆUS 氏ガ Amœnitates Academicæ II 卷ニ *Cimicifuga fœtida* ナル名ヲ發表シテ居ル樣ニ記シテ居ルケレド LINNÆUS 氏ハ同書中デハ *Cimicifuga* 屬ヲ記載シタダケデ二名命名法ノ種名ハ記シテハ居ナイ。

○室內裝飾ニ多ク使ハレル小笠原產ノおほはまおもとノ白ク太イ幹トモ見エルノハ、多肉デ長大ナ葉柄ガ重ナリ合ツタモノデ中ニ細イ莖ガアルカラ コレハ僞莖 (pseudocaulis) デアル。てんなんしやう屬 (*Arisæma*), こんにやく屬 (*Amorphophallus*)、ばせを屬 (*Musa*), ねぎ、小サイモノデハちけいらん屬 (*Cestichis*) ナドモコレデアル。

○子葉ハソノ形ニ科ニ共通シタ性質ヲ表ハシテ居ルコトガアル。さんせう、きはだ、こくさぎ、いぬざんせう等ハ成葉ニハ鋸齒ノ有無ガアルニ拘ラズ子葉ハ全部鋸齒緣乃至鈍齒牙緣デアル。

○あさがほハ他ノ蔓ニ多ク見ルト同ジク蔓ノ軸ヲ上カラ見レバ反時計式ニ卷ク。コノ卷キ方ヲ左卷 (sinistrorse) ト呼ブノハ LINNÆUS, AL. BRAUN, A. P. DE CANDOLLE ノ諸先哲ヤ三好、牧野、中井ノ諸先生デアツテ從ツテ日本デハコノ式ニ統一サレテ居ル。シカシ GRAY, BENTHAM, EICHLER ノ諸氏ハコレヲ右卷 (dextrorse) ト呼ンデ居ルノデ時ニ混亂ヲ惹キ起ス。DARWIN ハ左右ノ稱ヲ採ラズニ against the sun トイヒコノ反對ヲ with the sun ト呼ンダノハ少クトモ北半球ノ溫帶地域デハウマイ表現デアツタ (前川文夫)。